



HELLOWみどい



お子様が風邪などの病気にかかり、保育園や幼稚園に通えない時に、お預かりする施設です。

★新型コロナウイルス感染症は増加傾向です。ご利用希望の方は、
めざわこどもクリニックホームページ「病児保育室みどい」の受け入れ対応を参照してください。

先月の病児保育室利用者とキャンセル数(2023.8月) (人)

利用者数	病名	認可等	ナーサリー等	その他	キャンセル数
11	急性咽頭炎・急性上気道炎・急性気管支炎・インフルエンザA・気管支炎・中耳炎・急性胃腸炎	11	0	0	9

現在の新型コロナウイルス感染症

今年5/8より、新型コロナ感染症は2類から5類感染症に移行し、普通の生活が戻ってきた事ではあったのも束の間、6月以降徐々に増え続けています。主に新型コロナウイルスオミクロン株由来のBA1からBA5に変異し、その後日本でもXBB・1・5系統が主流となりました。現在、アメリカ等世界での主流は、新たな派生型EG.5（通称ワズ）です。WHOは注目すべき変異株に指定しました。日本でも、強い感染力を持つEG.5株が主流株になっています。そこで、EG.5株EG.5.1株について調べてみました。



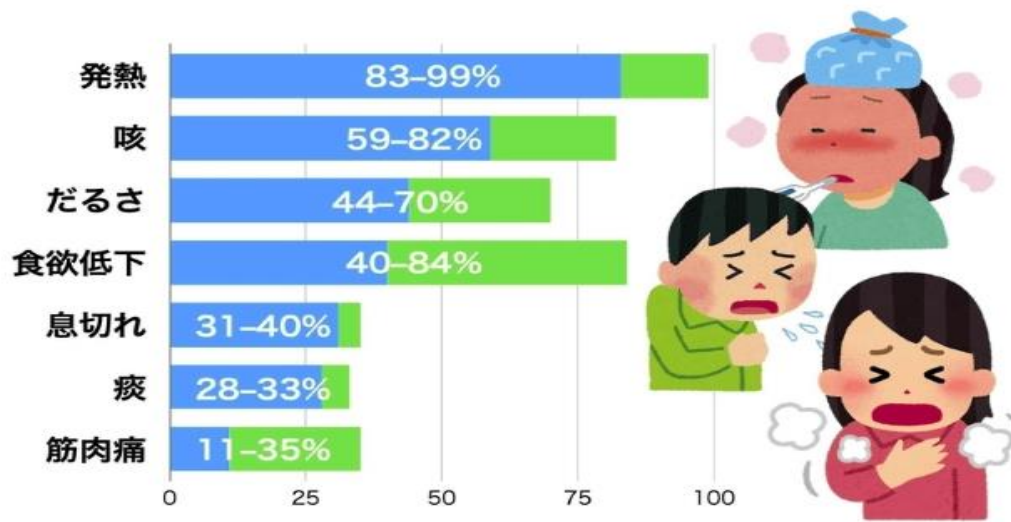
参照：東京都保険医療局「最新のモニタリング項目の分析について」

下図は、新型コロナ感染症（covit-19）の患者数が全国的に増加傾向を示しています。



新型コロナ「EG.5株」の想定される主症状

新型コロナウイルス感染症の症状は？



新型コロナの頻度の高い症状 (CDC. Interim Clinical Guidance for Management of Patients with Confirmed COVID-19より)

現時点では、アメリカCDCで発表されている症状は、EG.5.株が主流になってもオミクロン株の症状と大きな変化はないといわれています。

また、現在のところ、「EG.5.株での重症化しやすい傾向はない」とのことです。

コロナ感染症は、変異を繰り返し現在も増加傾向となっており、終わりが見えていません。秋に向かい、もう一度感染予防を思い出してください。



- 最近の感染症**
- ・RSウイルス感染症流行中
 - ・溶連菌感染症流行中
 - ・コロナ増加中
 - ・インフルもでています



2023.9.1



病児保育室みどり